

8月大天体ショーが始まる



プラネ新聞

発行所 岐阜市科学館
〒500-8389
岐阜市本荘3456-41
TEL: 058-272-1333
FAX: 058-272-1303

三大流星群の王者？を見よう!!

8月12日ペルセウス座流星群がやってくる

さあ、いよいよ流星群の本命が登場しますよ。ペルセウス座流星群です。ご存じ、この流星群は三大流星群としてよく知られていますね。他の2つは、1月4日のしぶんぎ座流星群、12月14日のふたご座流星群です。夏の風物詩であるペルセウス座流星群は三大と言いつつも頭1つ抜き出て、王者としてこれらの流星群に君臨しています。というも見られる流星の数も圧倒的に多く(1時間に30個とも50個とも言われている)、しかも夏です。季候が良い。夜遅くまで見ていただけますね。



ところで、これら流星群って何？という疑問をお持ちの方のために、簡単に説明しましょう。別名ほうき星と呼ばれる輝星は、塵をまき散らしながら楕円軌道で、周期的に回帰します(周期彗星)。その彗星が塵をまき散

らした軌道上に地球が突っ込むと、大気との摩擦で塵が高温になり光ります。これが流星です。さらに、この塵を含んだ帯(彗星の軌道上にある)に突っ込んでいく時期は毎年同じで、流星が出現する点の先にある星座の名前をとって○○座流星群と呼んでいます。今回のペルセウス座流星群の母彗星はテンペル・タットル彗星です。米国のテンペルさんとタットルさんが1862年に同時期に発見してその名が付けられました。133年周期でまわっており、現在は地球から遠く離れた位置にいます。さあ、夏の風物詩、夜更かしは大目に見てもらいながらペルセウス座流星群を見ましょう。夜10頃から多く見られますよ。少なくとも15分ぐらいはじっと寝転がって眺めていると見られるかもしれない。もちろん晴れていることが条件です。

展示物の解説 「太陽の色・空の色」



第4展示室には「太陽の色・空の色」があります。太陽の色は青い夕焼けはなぜ赤いのか？謎を解明します。光の中の色は波長が短い散乱さ、それが目に入り、空は青く見えます。そのことを後ろの水槽で確かめることができます。是非の場は合はは赤い夕焼けの目も赤い夕焼けの目です。

星座は88個でも領域は89箇所？なぜ!

そもそも星座っていつからその数が88個と決められたのでしょうか。それは、1928年、オランダで開かれた国際天文学連合という会議によって決められました。それまでは国によって46個であったり、120個であったりしました。またある国の王様は自分の好きな星を結んで自分座を作るなど、星座名やそれをつないでいる星も国によりまちまちでした。これでは全く統一がとれない、不便だ、天の位置を示す基準が無い、ということで星座は全部で88個、天には星座毎に領域を隙間なく決めましょう、

ということで決められました。領域とは、土地でいう境界線のようなもので、これらを決めたことで、全ての星は全ての星座のどれかに属することになりました。さて、ここまで話したところで、題名にある「星座は88個、でも領域は89箇所？なぜ!」とはいったいどういうことでしょうか。星座の数だけ領域があるはずですが、考えられることはどれかの星座が領域を2つ持っているということです。まさにその通りで、実は、先月号(7月号)でも、取り上げた星座「へびつかい座」が持ち上げた星座「へび座」に2つの領域があるので、ちょっと気がつきませぬ。どこのクイズにでも使ってください。

